



環創み第 539 号
平成 27 年 6 月 1 日

各自治会・町内会長様

横浜市環境創造局
みどりアップ推進課長 菅谷 浩明

回覧依頼

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）平成 26 年度の実績（概要）
リーフレットの回覧について（依頼）

初夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本市の緑行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、「緑豊かなまち横浜」を次の世代に引き継いでいくために、「横浜みどり税」を財源の一部にして「横浜みどりアップ計画」（計画期間：平成 26-30 年度）を推進しているところです。

このたび同計画の平成 26 年度の主な事業実績や横浜みどり税の使いみちについてまとめたリーフレットを作成いたしました。多忙の折、誠に恐縮ですが、各自治会・町内会の皆様へ回覧いただきますよう御依頼申し上げます。

今後も、「横浜みどりアップ計画」を着実に推進するとともに、市民の皆様へ事業の取組と実績について積極的に広報してまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。



担当：環境創造局みどりアップ推進課
中林・高木

TEL：(671)2712 FAX:(224)6627

E-mail：ks-midoriup@city.yokohama.jp



裏面有り

区連会配布資料について

1 横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度） 平成 26 年度の実績（概要）リーフレット

- 平成 26 年度の主な事業実績や横浜みどり税の使いみちについてまとめたリーフレットです。

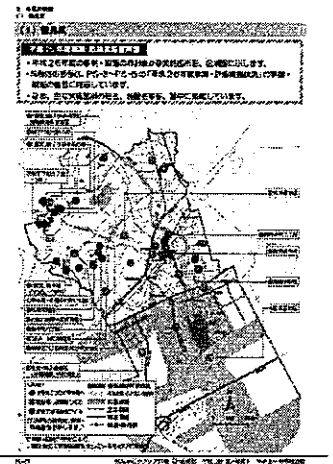
*各自治会・町内会宛に必要な部数を送付致しますので、
回覧をお願い致します。



2 平成 26 年度区別実績

- 「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）平成 26 年度事業報告書」から各区別の実績を抜粋したものです

*区連会で配布させて頂いています。



3 横浜みどりアップ計画市民推進会議平成 26 年度報告書概要版

- 横浜みどりアップ計画の施策・事業の評価・提案等を行うために設置された市民参加の組織である「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が作成した平成 26 年度報告書の概要版です。

*各自治会・町内会長様宛に 1 部送付させて頂きます。



<「市民推進会議平成 26 年度報告書」についてのお問合せはこちらへ>

環境創造局政策課 TEL : (671) 4214 FAX: (641) 3490

E-mail : ks-mimiplan@city.yokohama.jp

横浜でみどりアップを体感しよう!

① 森に遊びにきませんか? ～ウェルカムセンターでお待ちしています～

森の情報を発信し森の魅力を伝える「ウェルカムセンター」を市内5か所に設置しています。

- A 寺家ふるさと村 四季の家
- B 新治里山公園
にいほる里山交流センター
- C 環境活動支援センター
交流スペース
- D 舞岡ふるさと村 虹の家
- E 横浜自然観察の森
自然観察センター

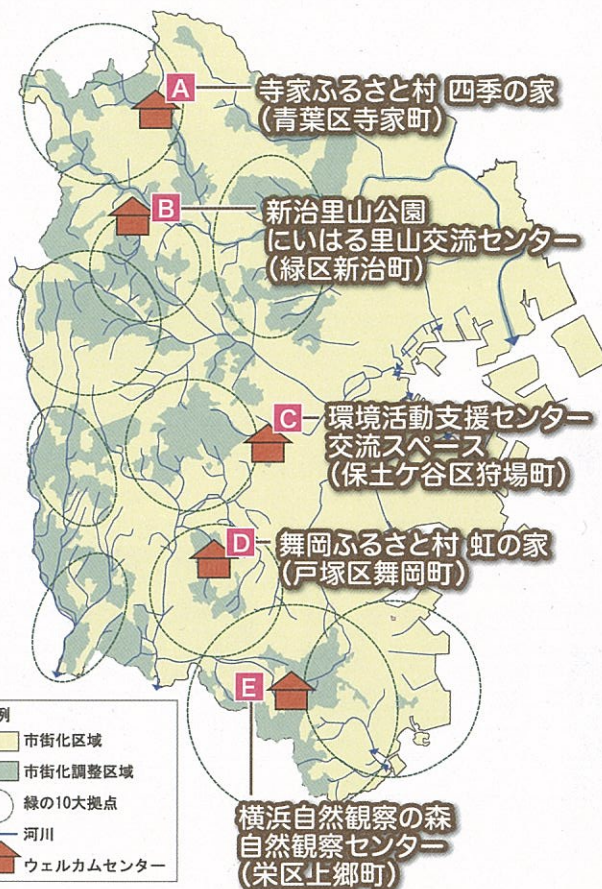


▲新緑ガイドウォーキング
(舞岡ふるさと村)



▲横浜自然観察の森
自然観察センター

5つのウェルカムセンター



- 凡例
- 市街化区域
 - 市街化調整区域
 - 緑の10大拠点
 - 河川
 - ウェルカムセンター

② 横浜で採れた農畜産物を食べよう!

横浜みどりアップ計画では、地産地消の取組を推進しています。あなたの身近にある直売所や青空市、収穫体験農園などで、新鮮でおいしい横浜の農畜産物を味わってみませんか?



よこはまブランド
はま菜ちゃん

詳しくは [横浜で地産地消](#) 検索



地産地消サポート店のメニュー例
(カブのフルコース)



横浜中部地区市民朝市

メールマガジンに登録しませんか?

横浜みどりアップ計画メールマガジン

緑に関するイベントの情報や「横浜みどりアップ計画」の進捗状況を月2回配信。

よこはまの森ニュースレター

森づくりに関する情報の発信を目的として、年に4回発行。

はまふうどナビ・メールマガジン

横浜市の地産地消に関する情報を定期的に配信。

メールマガジンの登録はこちらから ▶ [みどりアップ メールマガジン](#) 検索

「横浜みどりアップ計画」の事業報告書及び計画書は、次の場所で閲覧できます

- ★各区役所広報相談係
- ★市民情報センター(市庁舎1階)
- ★環境創造局政策課
- ★環境創造局のウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>

- ◆「横浜みどりアップ計画」について ▶ 環境創造局政策課 TEL:045(671)4214 FAX:045(641)3490
- ◆「横浜みどりアップ計画」の各事業について ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 TEL:045(671)2712 FAX:045(224)6627
- ◆「横浜みどり税」について ▶ 各区役所税務課又は財政局税務課 TEL:045(671)2253 FAX:045(641)2775

花と緑の祭典「第33回全国都市緑化よこはまフェア」を平成29年春開催!

全国都市緑化フェアを平成29年春、横浜で開催します。横浜が先進的に行ってきた緑の取組の成果をアピールし、「美しい花と緑豊かなまち横浜」を発信していきます。今後、多くの方々と連携し、協力をいただきながらフェア開催の準備を進めていきます。

平成27年6月発行:横浜環境創造局みどりアップ推進課

横浜みどり税を財源の一部に活用

計画期間
平成26-30年度

横浜みどりアップ計画

平成26年度の実績(概要)



泉区和泉町



みなとみらい21新港中央広場(中区)

川島町二ノ沢
特別緑地保全
地区(旭区)

取組の柱1
市民とともに
つなぐ森を育む



取組の柱2

市民が身近に
農を感じる場をつくる



取組の柱3

市民が実感できる
緑をつくる

みどりアップ計画は
色々な緑の取組を
行っているよ!

横浜みどりアップのマスコットキャラクター



横浜市は大都市でありながら、身近な場所に水や緑の環境があります。

市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、

「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」(計画期間:平成26-30年度)を推進しています。

平成26年度に実施した事業の実績の概要をご報告します。





取組の柱1

市民とともに 次世代につなぐ 森を育む

- 樹林地の指定: **101.7ha** (特別緑地保全地区、市民の森、緑地保存地区など) [5か年の目標: 500ha]
※101.7haは、横浜公園約16個分の面積。
- 指定した樹林地の一部の買取り: **18.2ha** ● 樹林地維持管理助成: **132件** [5か年の目標: 650件]
- 新たに保全管理計画を策定した市民の森等:
市民の森等 **3か所** / まとまった樹林地のある公園 **5か所** [5か年の目標: 樹林地15か所、公園10か所]
- 森に関わるきっかけとなるイベント等: **107回実施** (参加者9,730人) [5か年の目標: 180回]

緑地保全制度による指定の拡大

特別緑地保全地区等に指定し、樹林地の保全を推進



新規指定した樹林地(保土ヶ谷区)

不測の事態による買取り希望等への対応

特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に、着実に対応



買取り対応した樹林地(磯子区)

指定された樹林地における維持管理の支援

指定した樹林地の外周部などで土地所有者が行う危険・支障樹木の管理作業の支援を実施



作業実施後の様子(港南区)



取組の柱3

市民が 実感できる 緑をつくる

- 地域で緑のまちづくりに取り組んでいる地区: **22地区** (うち新規6地区) [5か年の目標: 46地区]
- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出... **50か所** [5か年の目標: 100か所]
- 公共施設・公有地での緑の創出... **16か所** [5か年の目標: 58か所]

地域緑のまちづくり

地域の方々が主体となり、地域にふさわしい緑化を計画し実施



沿道緑化の様子(青葉区)

地域緑のまちづくり

地域の方々が主体となり、地域にふさわしい緑化を計画し実施



緑化の様子(鶴見区)

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出



芝生化された園庭(都筑区)

森の楽しみづくり よこはま森の楽校

市内の大学と連携し、多様な環境活動や地域特性を活かした自然体験学習を実施



生きもの調査の様子(泉区)

森の楽しみづくり みどりアップ健康ウォーキング

樹林地保全への関心と理解を深めながら、健康増進を図るウォーキングを実施



ウォーキングの様子(青葉区)

森の楽しみづくり 森の中のプレイパーク

子どもたちが木とふれあい、遊びを通して森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークを実施



環境学習の様子(瀬谷区)

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体に対して、森づくり活動を支援



研修の様子(都筑区)

公共施設・公有地での緑の創出

各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進



横浜市民ギャラリーの緑化(西区)

民有地における緑化の助成

基準以上の緑化を行う市民・事業者へ、緑化費用の一部を助成



緑化の様子(南区)

建築物緑化保全契約の締結

基準以上の緑化に対し固定資産税等の軽減を図る契約を締結



緑化保全契約を締結した緑地(旭区)

都心臨海部の緑花による賑わいづくり

都心臨海部において緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開



山下公園の緑花(中区)



取組の柱2

市民が身近に 農を感じる 場をつくる

- 水田の保全: **119.7ha** [5か年の目標: 125ha]
- 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 [5か年の目標: 25.8ha]
収穫体験農園の開設支援: **1.5ha**、市民農園の開設支援: **2.8ha**、農園付公園の整備: **1.4ha**
- 農景観が良好に維持されている農地の面積: **704.3ha** [5か年の目標: 680ha]
- 地産地消にふれる機会の拡大
直売所等の支援: **4件** [5か年の目標: 52件]、青空市の運営支援: **4件** [5か年の目標: 25件]

水田の保全

貯水機能や景観形成など多面的な機能をもつ水田を保全する取組を推進



保全された水田(緑区)

市民農園の開設支援

区画貸しの農園や農家の指導を受けられる農園など、市民が栽培から収穫までを楽しめる農園の開設を支援



特区農園(栄区)

収穫体験農園の開設支援

果物のもぎ取りや野菜収穫等、市民が地産地消を体験できる収穫体験農園の整備に対し支援



開設支援したイチゴ農園(戸塚区)

農景観を良好に維持する取組の支援

まとまりのある農地を保全し良好な農景観を維持する団体の活動を支援



農地縁辺部への景観植物の植栽(金沢区)

農景観を良好に維持する取組の支援

まとまりのある農地を保全し良好な農景観を維持する団体の活動を支援



良好に維持されている農地(神奈川区)

青空市の運営支援

楽しみながら新鮮な農畜産物を購入できる青空市の運営を支援



みなとみらい農家朝市(西区)

農園付公園の整備

継続耕作の困難な農地等を、農的な施設を主とした都市公園として整備



師岡町梅の丘公園(港北区)

事業費と横浜みどり税の使いみち

平成26年度事業費87.0億円のうち、
21.6億円のみどり税を執行しました。

横浜みどり税の課税方式

- 個人 市民税の均等割に上乗せ900円/年*
- 法人 年間均等割額の9%相当額/年

*所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く。

緑をつくる
6.5億円
(30.1%)

森を育む
10.7億円
(49.5%)

農を感じる
場をつくる
4.4億円
(20.4%)

※このリーフレットの事業費等は、
執行見込み額です。



効果的な広報の展開

みどりアップ計画の内容や取組実績について、様々な方法で広報しています。



イベントでの広報▲



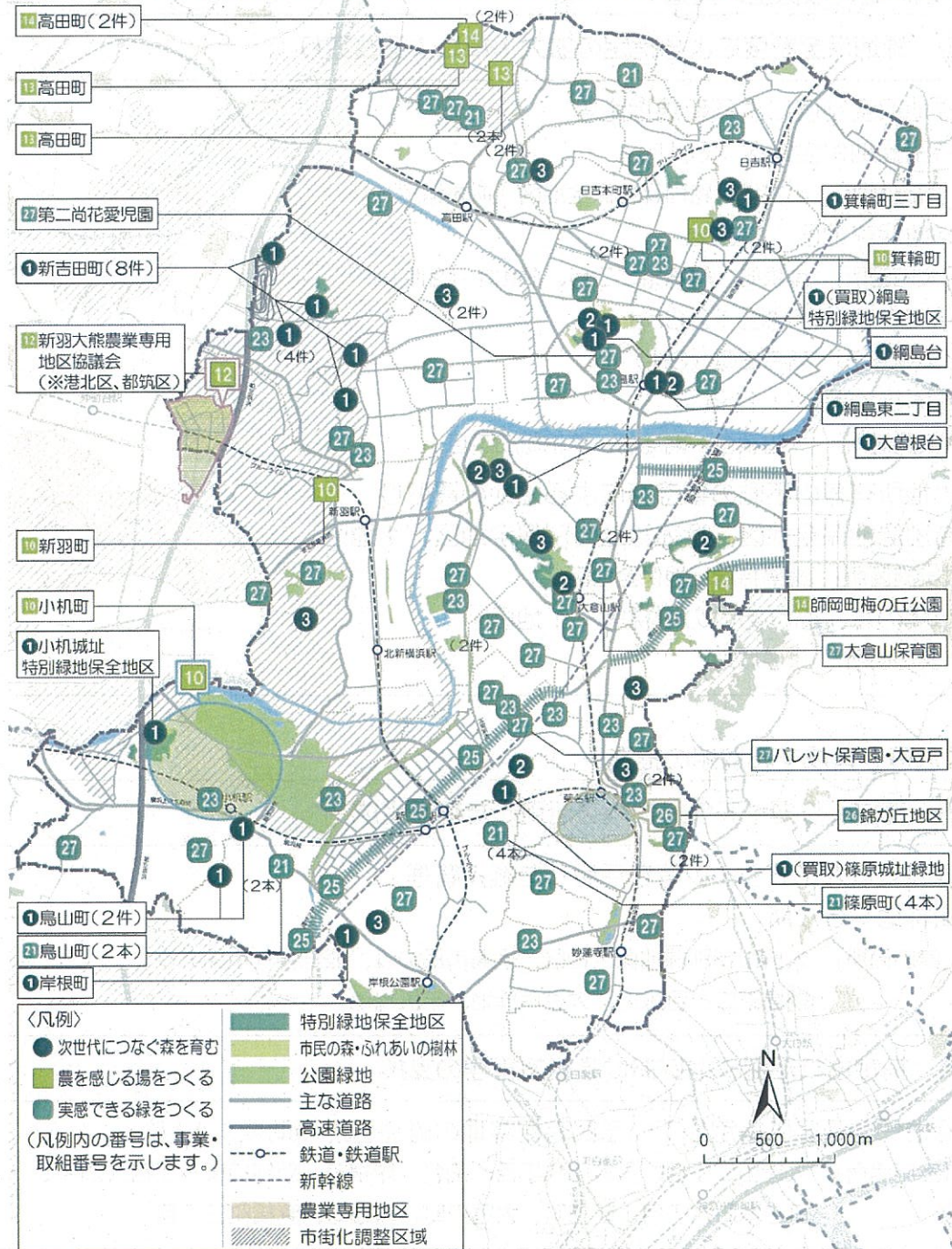
交通広告を用いたPR▲

▲ 広報よこはまの活用

(11) 港北区

平成 26 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 26 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- ・凡例内の番号は、P5-53～P5-55 の「平成 26 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 26 年度事業・取組実施状況

- 平成 26 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- P5-52 の「平成 26 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■ 市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

- 特別緑地保全地区：0.1ha
[実施箇所] 小机城址特別緑地保全地区（拡大指定）
- 緑地保存地区：0.6ha
[実施箇所] 岸根町、綱島東二丁目、鳥山町（2件）
- 源流の森保存地区：2.0ha
[実施箇所] 新吉田町（8件）
- 寄附緑地等：0.1ha
[実施箇所] 大曽根台、綱島台、箕輪町三丁目

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

- 特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：1 地区
[実施箇所] 綱島特別緑地保全地区
- 市民の森、ふれあいの樹林等：1 地区
[実施箇所] 篠原城址

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

- 樹林地：6か所
[実施箇所] 大倉山特別緑地保全地区、綱島市民の森、熊野神社市民の森
綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：11件
[実施箇所] 大倉山二丁目、大倉山六丁目、菊名、岸根町、新吉田東一丁目（2件）、
日吉本町六丁目、新羽町、大豆戸町、箕輪町、箕輪町三丁目

■ 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
・水田保全承認面積：1.1ha [実施箇所] 小机町、新羽町、箕輪町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
・地域の農地管理を行う団体への支援：15.8ha（1団体） [実施箇所] 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
13 多様な主体による農地の利用促進
・6年以上の長期貸付を開始した農地：0.3ha [実施箇所] 高田町（2件）
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
・市民農園の開設支援：0.3ha [実施箇所] 高田町（2件） ・農園付公園の整備：1か所 [実施箇所] 師岡町梅の丘公園

■ 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

21 名木古木の保存
・名木古木の新規指定：6本 [実施箇所] 篠原町（4本）、鳥山町（2本） ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：3本 [実施箇所] 下田町三丁目、高田町（2本）
22 人生記念樹の配布
・人生記念樹の配布：495本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> ・創出した緑の維持管理：15か所 [実施箇所] 日吉地区センター、菊名コミュニティハウス、樽町地域ケアプラザ、港北スポーツセンター、障害者スポーツ文化センター横浜ラポール、港北土木事務所 ほか
25 いきいきとした街路樹づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的な剪定：6路線

<緑を楽しむ市民の盛り上げりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：1地区 [実施箇所] 錦が丘地区
27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出
<ul style="list-style-type: none"> ・緑の創出：3か所 [実施箇所] 大倉山保育園、パレット保育園・大豆戸、第二尚花愛児園 ・芝生等の維持管理：41か所 [実施箇所] おおくらやまえきまへのぞみ保育園、港北保育園、大曾根保育園、大綱小学校、菊名小学校、北綱島小学校、高田中学校、樽町中学校、新羽中学校、城郷中学校 ほか

平成 26 年度事業・取組実施写真

・平成 26 年度の区内の事業・取組の写真を一部ご紹介します。

■ 市民とともに次世代につなぐ森を育む



1
緑地保全制度による新規指定等
(源流の森保存地区/新吉田町)



2
森づくりガイドライン等を活用した維持管理
(大豆戸緑地)

■ 市民が身近に農を感じる場をつくる



13
6 年以上の長期貸付を開始した農地
(高田町)



14
農園付公園の整備 (師岡町梅の丘公園)

■ 市民が実感できる緑をつくる



21
名木古木の保存
(新規指定/篠原町〔イチョウ〕)



27
保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出
(創出/大倉山保育園)

5 各区の実績
(1) 港北区

横浜みどりアップ計画市民推進会議による

横浜みどりアップ計画の評価・提案の概要

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の皆さんへの情報提供をおこなうことを目的として設置された会議です。

平成26年度も、現地調査や会議を実施し、みどりアップ計画の推進に向けた評価・提案などを報告書としてまとめました。

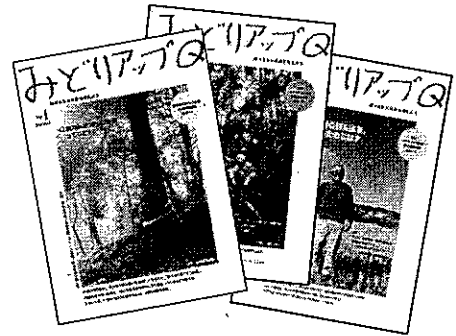
活動の様子



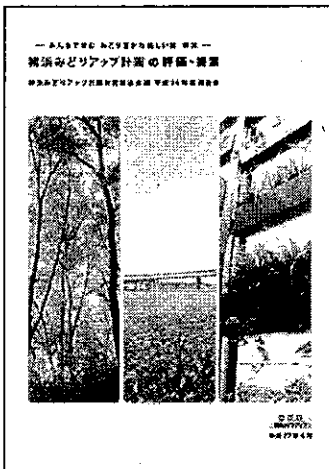
現地調査(地権者との対談)



部会の様子



広報誌「みどりアップQ」の発行



報告書表紙

報告書は市民推進会議ホームページで掲載しているほか、環境創造局政策課、市民情報センター、区役所広報相談係でもご覧いただけます。

評価・提案のまとめ

- 計画全体として、柱ごとに数多くの事業が積極的に推進されています。
- 市民とともに次世代につなぐ森を育む取組は、樹林地の指定が目標を達成し、樹林地の保全が進んでいることを評価します。
- 市民が身近に農を感じる場をつくる取組は、目標を達成していない一部の事業では、内容の見直しも検討しつつ、目標達成に向け着実な推進が必要です。
- 市民が実感できる緑をつくる取組は、全体的にはほぼ目標を達成できています。
- 効果的な広報を展開する取組は、時には特徴的な内容に絞って広報するなど工夫が必要です。
- 内容や方法に必要な改良は加えながら、目標の達成を目指して、平成27年度も引き続き取組を推進することを期待します。

評価・提案の内容は裏面にあります

取組の柱ごとの評価・提案の概要

市民とともに次世代につなぐ 森を育む

- 次世代につなぐ森を育む取組は、昨年度までの取組から引き続き、全体的に目標どおり推進されています。特に、計画の根幹である緑地保全制度による樹林地の指定は目標を達成し、樹林地の保全が進んでいることを評価します。
- 森を育む人材の育成と森にかかわるきっかけづくりの取組が進んでおり、森の保全や維持管理に携わる人材のすそ野が広がることを期待します。

市民が実感できる 緑をつくる

- 民有地における緑化の助成など、一部の事業では目標を下回る実績でしたが、全体としてほぼ目標を達成できています。
- 地域緑のまちづくりの推進により、その地域ならではの緑のまちづくりが進み、緑を通じた地域コミュニティの活性化や緑化活動への参画の広がりなど、市民の緑化意識の向上につながる取組となっています。

市民が身近に 農を感じる場をつくる

- 水田保全の取組などはほぼ目標に達していますが、直売所の整備や施設拡充の支援など、一部の事業では達成できていないものもあります。これらの取組については、内容の見直しも検討しつつ、目標達成に向け着実な推進が必要です。
- 生産の場のみならず、生物多様性を育む場、環境教育をおこなう場、どんど焼きなど地域文化を継承する場としても、農地や農業が評価されることを期待します。

効果的な 広報の展開

- 広報よこはまの特集記事など、市民の理解を広げるための広報に力を入れています。
- その一方で、取組んでいる事業数が多いことから、それぞれの事業の効果が伝わりにくいという課題もあります。時には特徴的な内容に絞って広報するなど、計画やみどり税の効果を市民の皆さんに実感していただく工夫が必要です。

公募市民や学識経験者、関係団体、自治会・町内会代表の計16名で活動しています。

私達が
委員です

相川健志(公募市民)／相原信行(横浜市町内会連合会 顧問)／東みちよ(公募市民)／池田信彦(よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長)／池邊このみ(千葉大学大学院 園芸学研究科 教授)／大竹齋子(公募市民)／加茂千津子(公募市民)／清水靖枝(長屋門公園管理運営委員会 事務局長)／進士五十八(東京農業大学 名誉教授)／関水金作(追分・矢指市民の森愛護会 会長)／蔦谷栄一(株式会社農林中金総合研究所 客員研究員)／長瀬里佳(公募市民)／野路幸子(元横浜市中央農業委員会委員)／望月正光(関東学院大学 経済学部 教授)／矢沢定則(横浜農業協同組合 常務理事)／若林史郎(横浜商工会議所 理事・企画広報部長)

50音順・敬称略

◆お問合せ

報告書や市民推進会議の詳細は、環境創造局の市民推進会議ホームページをご覧ください。

横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局
環境創造局 政策調整部 政策課

市民推進会議

検索

TEL 045-671-4214 FAX 045-641-3490

e-mail : ks-mimiplan@city.yokohama.jp